

老おんらけんかい けんし十けん

祇園武剣会 剣士十訓

- 一 「れいにはじまり れいにおわる」 れい老を老おんらけんかい
- 二 たかいにふるぞしをもつ (大老なゆめ たがいもくろもつをたてる)
- 三 「いつも しょうめんから正々どつどつ」 つよい心をもつ
(つそをつかない ひきもつなつとをしない はまかじい
おこないをしない わるいことをだます)
- 四 「なにくそ！」 きりよく 老がいをもちて
じぶんのよわい心にかつ
- 五 しんぽつ、 にんたいりよくをみにつける
(とちゆつであ老らぬない にげだせぬない やりしげる)
- 六 じぶんについつくもく ものじつをかんがえたり、
じぶん中心にものじつをすすぬない)
- 七 めつえの人のはなしをよく老老、 とじしたや
よわい人にはやさしく じんせつにする
- 八 どんなと老も どんなひとでも まじつをつくす
- 九 「おかげさま ありがとつ心」 かんしゃで老る心をもつ
- 十 すなおにまなぶ心をもつ
(わからないじつは いくつになつても どんな人にも
あたまをちげて おしえていただく)